



エクレシア

シリーズ・21世紀を生きる



「教会」とは

- 唯一の神を信じ、イエスを神の子、救い主と信じる人たちの集まり
 - カトリック・プロテstant・正教など、多くの教派教団があるが、信じている神は同じ
- 二つの「教会」
 - 信者全体(ユニバーサル・チャーチ)
 - 地域の教会(ローカル・チャーチ)
- “エクレシア”：「召集された者」、の意



何のために召集されたのか

- イエス・キリストの身体として働くため
 - 福音を伝える
 - この世の過ちを正す
 - 困っている人、苦しんでいる人を助ける
- イエス・キリストの身体として成長するため
 - クリスチヤンの数が増えていく
 - クリスチヤンの人格が成熟する



教会のすがた

「こうして、聖なる者たちは奉仕の業に適した者とされ、キリストの体を造り上げてゆき、ついには、わたしたちは皆、神の子に対する信仰と知識において一つのものとなり、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです。



こうして、わたしたちは、もはや未熟な者ではなくなり、人々を誤りに導こうとする悪賢い人間の、風のように変わりやすい教えに、もてあそばれたり、引き回されたりすることなく、むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、**頭であるキリスト**に向かって成長していきます。キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしつかり組み合わされ、結び合わされて、おののおのの部分は分に応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。」

<エフェソの信徒への手紙4:12-16>



教会の仕組み

- しつかり組み合わされ、結び合わされる
 - 身体の組織のように緊密につながる
- 分に応じた働きをする
 - 与えられた賜物を生かして仕え合う
- 愛によって造り上げる
 - 教会の血液は「愛」である



コミュニティとしての教会

- コミュニティが果たしてきた役割
 - 倫理道德・人格の形成・共生意識
- コミュニティを失った時代
 - 産業構造の変化により、孤立化が進む
 - サークル活動は盛んであるが…
- 教会は真のコミュニティである
 - 教会はあるべき姿を失ってはならない